# IAT<sub>E</sub>Xmas Eve 聖なる夜に君は美文書に浸る 【アドカレ 2020 24 日目】

## AL18036 片岡 凪 \*

提出締切 2020 年 12 月 24 日 提出日 2020 年 12 月 24 日

## 目次

1	LaTeX の基本	2
1.1	機能の呼び出し方	2
1.2	ソースファイルの大まかな構造	2
1.3	改行の仕方	2
1.4	数式の出力	2
1.5	特殊文字の出力	2
2	LaTeX の応用	3
2.1	2 段組み	3
2.2	脚注	3
2.3	出力されないメモを書き残す	3
2.4	項目の列挙	3
2.5	図の挿入	3
2.6	表の挿入	3
2.7	ソースコードの美しい挿入	3
2.8	目次や URL にハイパーリンクを張る	3
2.9	式や図表,参考文献の引用を示す	3
2.10	加減乗除	3
2.11	下付き文字・上付き文字	3
2.12	ベクトルの書き方	3
0.19	선데나오까는	9

<sup>\*</sup> 芝浦工業大学 工学部 情報工学科 3 年

#### 概要

本稿では、デジクリ アドベントカレンダー 2020 24 日目\* $^1$  で紹介した、LaTeX の書き方の基本と応用 について記述する.

## 1 LaTeX の基本

### 1.1 機能の呼び出し方

- \機能名
- \begin{機能名}[オプション] 文章\end{機能名}

#### 1.2 ソースファイルの大まかな構造

● 設定と本文と、それぞれの詳細

#### 1.3 改行の仕方

- 空行
- \\
- \noindent

#### 1.4 数式の出力

- 文章中で  $e^{i\theta} = \cos\theta + i\sin\theta$
- 別行立てで

$$e^{i\theta} = \cdots$$

$$= \cos\theta + i\sin\theta \tag{5}$$

## 1.5 特殊文字の出力

- 数式モードで使えるギリシャ文字など
- % や&など
- 困ったら\verb

<sup>\*1</sup> https://core.digicre.net/blog/event/2/

## 2 LaTeX の応用

#### 2.1 2段組み

このページから始まったような2段組み

#### 2.2 脚注

前ページの下部にあるような脚注

#### 2.3 出力されないメモを書き残す

- \%の利用
- \begin{comment}\end{comment}

#### 2.4 項目の列挙

手法 1. アン

手法 2. ドゥー

手法 3. トロワ

#### 2.5 図の挿入



図3 わたし

#### 2.6 表の挿入

表 1 直感による順序付けとコサイン類似度による 順序付けのまとめ

名詞	直感	コサイン類似度	順位の差
海賊	1位	1 位	0
戦い	2 位	4 位	-2
秘宝	3 位	3 位	0
冒険	4位	2 位	2
能力	5 位	5 位	0

#### 2.7 ソースコードの美しい挿入

ソースコード 2 hello\_world.c

- 1 int main(void) {
- printf("Hello World!");
- 3 }

### 2.8 目次や URL にハイパーリンクを張る

- 目次をクリックするとその場所に飛ぶ
- URL をクリックするとそのサイトが開く
- URL を記述する際の注意

## 2.9 式や図表,参考文献の引用を示す

式 (1), 図 3, 表 1, ソースコード 2, 参考文献 [1][2]

#### 2.10 加減乗除

 $+, -, \cdot, \times, \div, \frac{1}{2}, \frac{dy}{dx}$ 

## 2.11 下付き文字・上付き文字

$$a_n, e^{i\theta}, \sum_{k=0}^n, \int_{-\infty}^{\infty}$$

#### 2.12 ベクトルの書き方

 $\vec{v}, oldsymbol{v}$ 

#### 2.13 行列とその応用

$$A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} = \begin{cases} B & \text{if } a > 0 \\ C & \text{else} \end{cases}$$

## 参考文献

- [1] 片岡凪 (2020)「この文書のソースコード置き場」< https://github.com/KataokaNagi/tex-templates > 2020年12月24日アクセス.
- [2] 【人名】, 【人名】『【本のタイトル】』(【出版社】, 2017)